

入院診療計画書② 開腹手術を受ける方へ（1枚目）

ID:

新規作成日: 2023年5月24日

氏名:

日付	1日前		術前	術後	1日後
経過	不安の表出ができる 手術について理解できる		精神的準備ができている	創部に問題がない ドレーンに異常がない 合併症の症状・所見がない 排泄に問題がない	排尿状態に問題がない 消化管の症状・所見がない 離床ができる
目標					
注射			手術前に点滴を開始します。8:30からの手術の場合には手術室で開始します。	手術後に点滴4本と抗生剤1本を行います。	点滴が3本あります。夕方までに終了します。
投薬	下剤の内服があります。持参のお薬を確認します。返却後はいつも通り服用してください。	内服は、看護師から渡されたものを少量の水で内服してください。			痛み止めの内服が始まります。術前から飲んでいたお薬は確認してから内服再開してください。
検査					朝に採血があります。
放射線					
処置	身長、体重を測定します。緊急連絡先や既往歴などについて確認します。	朝手術着に着替えます。		帰室後は酸素マスクをします。	医師の回診があり、創部の状態を確認します。
	お臍（へそ）の汚れを除去します。			血栓予防のために足にマッサージ機を付けます。初回歩行後に外します。	
食事	22時以降は食べられません。水・お茶は翌日朝6時まで飲めます。	朝6時まで水・お茶は飲めます。		何も食べたり飲んだりできません。	朝から飲水可能、昼から五分粥で食事開始です。夕食は全粥となります。
	臍処置が終わったら、手術に備えて、シャワーまたは入浴で身体をきれいに洗ってください。	洗面、歯磨きを済ませてください。			体拭き・着替えを介助しながら行います。
排泄			手術室で尿の管を入れます。初回歩行まで入れたままとします。管を抜いて最初の排尿があったら看護師にお知らせください。		
活動	院内の移動は自由（検温や処置の時間は病室にいらしてください。）		ベッド上安静です。自力で体の向きを変えることができます。		朝からベッドを起こして体を起こします。介助の元で初回歩行を行います。大丈夫であれば可能な範囲で病棟内を歩いてみましょう。
	リハビリ		リハビリテーションの予定はありません		
看護ケア	性器出血、腹痛、腹部膨満感などを観察します。		創出血、性器出血、嘔気、嘔吐、頭痛、創痛（10段階のペインスコア）、呼吸苦、排ガスの有無を観察します。		
	検温（入院時・就寝前）		検温（起床時・出棟前）		検温（起床時・午前・午後・就寝前）
確認事項	①手術 ②輸血 ③特定生物由来製剤 ④麻酔 上記4点の同意書を確認します。		メガネやコンタクト、ネックレスや指輪などの貴金属類はすべて外してください。義歯がある場合も必ず外してください。		
	医師から手術の説明がありますので、ご家族も同席してください		パジャマ 浴衣 タオルはセットのレンタルがあります		
	マニキュア・ジェルネイル・まつげエクステは入院前に落としてきてください。				
手術前後の流れを説明し、入院診療計画書に同意を頂きます。					
指導	病棟オリエンテーションを行います。手術に必要な物品（腹帯、T字帯、夜用ナプキン、バスタオル、ゆかた、ストロー、）を確認します。パジャマ/タオルをレンタルされる方は、バスタオル、ゆかたは不要です。		手術着に着替えてください。ブラジャーや肌着はつけないでください。ショーツは履いたままで構いません。髪が長い場合は、飾りのないゴムで束ねてください。		早期離床は術後の回復を助けます。痛み止めを内服して体を動かしていきましょう。

入院診療計画書② 開腹手術を受ける方へ（2枚目）

ID:

新規作成日： 2023年5月24日

氏名:

日付					
経過	2日後	3日後	4日後	5日後	6日後
目標	創部に問題がない ドレーンに異常がない 疼痛のコントロールができています 排便状態に問題がない ADLの範囲の拡大ができる 日常生活の注意点について理解できる				
注射					
投薬					
検査		朝に採血があります。		朝に採血があります。	
放射線					
処置	医師の回診があり、創部の状態を確認します。		主治医の退院診察があります。		
	お腹に管が入ってくる場合があります。状態に応じて医師が抜きます。				
食事	朝から常食が出ます。				
清潔	身体拭き・着替えを介助しながら行います。	お腹の管と背中からの麻酔の管が抜けたら、全身シャワーができます。お傷はせっけんをよく泡立てて、お顔を洗うように優しく洗ってください。清潔に洗うことが一番大切です。			初回の外来受診まではシャワーのみ可能です。
排泄	術後は腸の動きが悪く便秘しやすいため、水分摂取を心がけ、少しずつ身体を動かしましょう。	排便はありましたか。水分摂取を心がけて、積極的に身体を動かしましょう。排便が無い場合は下剤や軟便剤が処方されることがあります。			退院後も水分摂取を心がけて、積極的に身体を動かして、便秘に注意していきましょう。
活動	特に制限はありません。病棟内を歩いてみたり、少しずつ体を動かしていきましょう。				退院おめでとうございます。どうぞ、お大事になさってください。
	リハビリ	リハビリテーションの予定はありません			
看護ケア	創出血、性器出血、嘔気、嘔吐、頭痛、創痛（10段階のペインスコア）、呼吸苦、排ガスの有無を観察します。				
	検温（起床時・午前・午後・就寝前）	検温（午前・就寝前）			検温（起床時）
確認事項				10時前後に退院会計の連絡が来ますので、お部屋でお待ちください。お預かりしているお薬や退院処方箋は、退院会計が済んでからお渡しいたします。すべてが終了したらネームバンドを切ってもらってからお帰りください。	
指導			退院指導を行います、看護師より、退院後に注意していただきたい症状や生活の注意点について説明します。		①出血（少量の出血は問題ありません） ②38度以上の発熱（風邪以外） ③強い腹痛 退院後上記の症状があれば、連絡し受診してください。